# Software Product Description

## 日本語 MailWorks for OpenVMS V1.3A ソフトウェア仕様書

SPD 27.P7.02

### 1　日本語 MailWorks の概要

本ソフトウェア仕様書では，日本語 MailWorks 製品群の 3 つの構成要素である，日本語 MailWorks サーバ，日本語 MailWorks ビデオ・ターミナル，日本語 MailWorks DECwindows について説明します。これらの構成要素は，OpenVMS 用レイヤード・ソフトウェア製品です。

日本語 MailWorks は CCITT 勧告 X.400　P2 で規定される国際メッセージ通信標準を実装した電子メッセージ通信アプリケーションです。本製品は，メッセージおよび添付データを他のユーザと交換する手段を提供します。

日本語 MailWorks は，当社の VAX　Massage　Router（SPD 26.33.xx）の上位に位置し，他のすべての MAILbus ゲートウェイおよび補足製品と対話します。

日本語 MailWorks サーバは，Microsoft　Windows 環境および Apple　Macintosh コンピュータ上のクライアントをサポートします。クライアントとして，Microsoft Windows および Macintosh 用の TeamLinks 製品をサポートします。日本語 MailWorks サーバは，日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルおよび日本語 MailWorks　DECwindows の構成要素をサポートします。日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルおよび日本語 MailWorks　DECwindows の構成要素は，日本語 MailWorks サーバとともに動作するもので，クライアントではありません。

日本語 MailWorks　for　OpenVMS の VAX 版と Alpha 版の機能は同一ですが，以下の制約があります。

- VAX と Alpha の混合クラスタはサポートされません。
- 日本語 MailWorks DECwindows は Alpha 上ではサポートされません。
- 日本語 DEC MAILworks for Macintosh および日本語 DEC　MAILworks　for　Windows は Alpha 上ではサポートされません。
- DX，WPL，DDIF および DTIF コンバータは，Alpha 版には含まれません。

注意：日本語 MailWorks，日本語ALL–IN–1　MAIL および日本語 DEC　MAILworks は同じ意味で使用されています。また，Alpha と AXP は同じ意味で使用されています。

クライアント・ソフトウェアはユーザにサービスを提供します。ソフトウェアはインテリジェント・デスクトップ装置で動作し，その処理能力を使用します。 OpenVMS 構成要素 (ビデオ・ターミナルあるいは DECwindows ) はサーバと同じノードあるいは VAXcluster 上の OpenVMS で実行されます。

クライアントは，ローカルおよびワイド・エリア・ネットワークの配信サービスを実行する日本語 MailWorks サーバに接続されます。

日本語 MailWorksサーバ間の転送や日本語 MailWorks と日本語ALL–IN–1製品群の間の転送は VAX　Message Router により実行されます。マルチ・ベンダ環境のメール転送が必要な場合，オプションのゲートウェイを VAX Message Router に接続することもできます。

ユーザはオフィスではインテリジェント・ワークステーションを使用し，自宅ではビデオ・ターミナルを使い，また旅行中はラップトップ PC を使用できます。クライアントはこれらの状況を提供し，またサーバ上の同じユーザ・メールボックスやファイルを使用します。

日本語 MailWorks は 1984 年版 CCITT 勧告 X.400 の全米標準技術研究所（NIST）プロファイルに準拠しています。日本語ALL–IN–1統合オフィス・システムの電子メッセージ通信サブシステムと互換性のある通信サービスが提供され，日本語 MailWorks で定義される新しいサービス要素が追加されています。

digital™

1995 年 7 月
AE–PM6TC–TE

## 1.1 日本語 MailWorks の機能

### ■転送

日本語 MailWorks サーバは，クライアントとサーバ間の転送接続をする DECnet， TCP/IP，および Kermit あるいは Zmodem を使用した非同期接続の 3 つをサポートしています。

日本語 MailWorks サーバは，これらすべての転送を同時にサポートします。サーバに接続する際にどの転送経路を使用するかは，クライアント側で指定します。省略時設定では，サーバには DECnet と非同期接続がサポートされています。 TCP/IP 接続を使用する場合，適切なソフトウェアがサーバ上で実行され，転送が可能になるように構成を適切に変更する必要があります。

クライアントから日本語 MailWorks サーバへの接続に DECnet が使用されていなくても，日本語 MailWorks サーバによって，そこから様々なネットワーク接続をするために DECnet が VAX 上で実行される必要があります。

### ■ VMSmail との互換性

ユーザは VMSmail から日本語 MailWorks へ容易に移行できます。インタフェースは VMSmail インタフェースを論理的に拡張したものなので，コマンドやサービスは馴染み易くなっています。 VMSmail で使用しているアドレスや配布先リストは日本語 MailWorks でも使用することができます。 OpenVMS 上の構成要素からはニックネーム論理名が使用できます。また，VMSmail 配布先リストで使用しているほとんどのアドレスは日本語 MailWorks でも使用できます。ただし，別のノードから配布先リストを使用するときと同様な制約を受けます。

ファイル・キャビネットの変換は，ビデオ・ターミナルの構成要素には必要ありません。 OpenVMS メール・メッセージを PC から使用可能にするには，ファイル・キャビネットの変換を一度行う必要があります。

VAX Message Router VMSmail Gateway によって同じシステム上の，または DECnet ネットワーク内の VMSmail とメッセージを交換することができます。

ユーザは日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルあるいは DECwindows の構成要素で使用するエディタを選択できます。 VMSmail から呼び出したり生成できるエディタは，日本語 MailWorks からも呼び出したり生成することができます。

### ■日本語ALL–IN–1との互換性

VAX Message Router によって，日本語ALL–IN–1統合オフィス・システムと同じスタイルのアドレス形式でメッセージを交換することができます。

日本語 MailWorks のサービスは，日本語ALL–IN–1の電子メッセージ通信サブシステムのサービスと互換性があります。たとえば，一方の製品からの受信通知要求は他方でも尊重されます。

日本語ALL–IN–1統合オフィス・システムで作成された配布先リストは日本語 MailWorks でも使用できます。ただし，別の日本語ALL–IN–1オフィス・システム・ノードにリストで送る時と同じ制約を受けます。日本語ALL–IN–1オフィス・システムで使用されるアドレス指定文字列は日本語 MailWorks でも同様に動作します。ただし，日本語ALL–IN–1の外部プロトコルを起動するアドレス文字列（下線で始まるもの）を除きます。

### ■X.400 メッセージ転送

他の日本語 MailWorks 領域や，国際的な X.400 P2 適合性基準を満たすサービスとメッセージを交換することができます。

顧客ネットワークの中では， VAX Message Router によってメッセージが転送されます。他ベンダの X.400 サービスへの転送には OSI ネットワーキング・スタックおよび日本語 VAX Message Router X.400 Gateway（JMRX）が必要となります。

OSI メッセージ交換には，DEC 製品で構成されたネットワーク領域 (通常，顧客ネットワークにつき 1 つ) に少なくとも 1 つの MRX Gateway が必要です。必要なハードウェアおよびソフトウェアについては，日本語 VAX Message Router X.400 Gateway の『ソフトウェア仕様書（SPD 26.H2.xx）』を参照してください。

### ■マルチ・ベンダ環境のサポート

MAILbus は，一連の既製ゲートウェイを提供します。また，ゲートウェイ開発キットを提供し，他ベンダ所有のメール・システムとメッセージを交換するためのゲートウェイを作成できます。必要なハードウェアおよびソフトウェアについては，各製品の『ソフトウェア仕様書 (SPD)』を参照してください。

### ■アドレッシング・オプション

日本語 MailWorks は，ユーザ・アドレス・ディレクトリとして当社の Distributed Directory Service（DDS）を使用します。 VAX Message Router の一部として利用可能なこの分散型ディレクトリは日本語 MailWorks，TeamLinks Mail，日本語ALL–IN–1統合オフィス・システム，ゲートウェイおよびそのディレクトリ・サービスを共有する他のエージェントとを結合します。

DDS ディレクトリは，サーバと接続されている間だけ利用することができるネットワーク資源です。

また，日本語 MailWorks 構成要素は個人アドレス帳 (PAB) を提供します。ユーザは， PAB を利用して，名前，電話番号，ニック・ネームなどに従ってメール・アドレスを保管，検索することができます。

他にも日本語 MailWorks OpenVMS クライアントでは，複数のユーザにメールを送付する場合に便利な配布リストを作成したりアクセスすることができます。これらの配布リストは OpenVMS アクセス制御機能を利用して，他のユーザと共有することもできます。

宛名書きをしながら，DDS，PAB，配布リストにアクセスすることもできます。これら 3 つのサービスは，メッセージ作成中に合わせて利用します。

■ファイリング・サービス

日本語 MailWorks は RMS ファイルへのアクセスだけでなく，ドロアやフォルダといったファイリング構造も提供します。ファイリング・サービスは事実上 VMSmail と似ています。ローカルに記憶装置を持った DECwindows 装置では，サーバにドロアを置く以外にローカルにもドロアを置くことができます。

OpenVMS のドロアは, OpenVMS アクセス制御で指定された各ユーザの特権により，ユーザ・グループ間で共有できます。

■メッセージ検索

ユーザが指定したヘッダフィールドおよびファイリング構造に基づいて，メッセージを検索することができます。

■ファイル形式

日本語 MailWorks は，様々なファイル形式を処理できるように設計されており，メッセージの読み易さを最大限にするように構成できます。日本語 MailWorks は，様々な形式のメッセージを自動処理したり，他のファイル書式化ルーチンや変換ルーチンを起動することができます。

日本語 MailWorks for OpenVMS の構成要素は，添付文書のファイル形式に適合したビューアやアプリケーションを起動するように設定することができます。

日本語 MailWorks では，メッセージが配信されたときに，その構成要素が自動的に変換されるように設定できます。これには KEYpak for OpenVMS（SPD 32.71.xx）のようなサード・パーティのコンバータを使用します。これは別料金のオプションです。ユーザは好みのファイル形式をプロファイルに登録できます。

特定のファイル形式を交換する場合，とくにゲートウェイを経由する場合は，最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

■ヘルプ

ユーザは HELP 機能を使用して日本語 MailWorks のヘルプを見ることができます。 HELP はユーザがドキュメントを参照しなくても，当該機能の実行方法など基本的な情報を提供します。

■印刷

日本語 MailWorks は OpenVMS で提供される当社の標準 OpenVMS 印刷機能を利用します。ユーザはプリンタの出力先およびオプションを指定できます。

■メッセージ通信機能

ユーザは提供されているコマンドを使用して，メッセージを作成したり読んだり送ることができます。メッセージには，多様な種類のファイル形式で情報を入れることができます。

メッセージは別の宛先に回送できます。また，メッセージの添付文書には別のメッセージ，ドキュメント，ファイルあるいはバイナリ・ファイルでさえ入れることができます。

メッセージの応答時に，発信者へ送り返す応答は自動的にアドレス指定されます。ユーザは送信者，受信者全員，または返信先リストに返信することができます。

メッセージは有効な MAILbus の宛先（たとえば VMSmail，X.400 など）ならば，世界中の一人ないし複数のユーザにアドレス指定できます。ファイル形式は受信者がそのメモを読めるように，ゲートウェイまたはユーザ・エージェントによって変更される場合があります。全てのファイル形式が全てのゲートウェイおよびユーザ・エージェントで処理されるわけではありません。メモの読み易さを最大限に保証するには，ネットワーク能力の設計に配慮が必要です。

■配信および受信通知

ユーザは，メッセージ送信時に配信および受信通知を指定することができます。これによって，メッセージが配信または受信されたときに通知メッセージが生成され発信者へ返されます。

■新しいメールの通知

ユーザは，新しいメッセージの到着の通知を行うかどうかを選択できます。

■メッセージ宛先変更

ユーザは，すべての受信メッセージを自動的に第 2 のアドレスへ宛先変更するように要求できます。

■優先度に基づく配信

ユーザは，メッセージ配信の優先度を選択できます。配信の等級（緊急，普通，不急）を指定します。

■メッセージ・クラス

ユーザは複数の指標を設定し，メッセージの性質について受信者に情報を与えることができます。指標には重要度（至急，普通，低い）と秘密度（制限なし，私信，親展，社外秘）があります。

これらのフィールドはファイル・キャビネット中のメッセージの分類にも使用できます。

■システム管理

メール・システムの必要なローカル・システム管理は最低限ですが，通常は自動化されています。標準 OpenVMS アカウントを開設するにはシステム管理者または監督者を必要としますが，基本的なアカウント設定は自動的に行なわれ，大部分の業務はユーザが実行できます。

ファイル・キャビネットの保守用に実行する特別なユーティリティはありません。サーバ上のすべてのユーザ領域は，標準 OpenVMS ユーティリティを使用して，保存したり回復することができます。

メール管理設計は MAILbus 製品群で使用される統合管理システムに従います。日本語 MailWorks サーバは，管理ユーティリティを提供するので，構成を変更したり，メール・システムの状態を調べることができます。

■国際化

日本語 MailWorks サーバ，日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルおよび日本語 MailWorks DECwindows は，複数言語の操作をサポートすることを前提に設計されています。これらは複数言語のネットワークに展開でき，単一サーバ・システム上の複数言語の操作をサポートします。日本語 MailWorks サーバ，日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルおよび日本語 MailWorks DECwindows は，当社の多国籍文字セットをサポートします。

■日本語 MailWorks ドキュメント

日本語 MailWorks for OpenVMS ドキュメント・セットの構成は以下の通りです。これらは VAX 版， Alpha 版に共通です。

- インストレーション・ガイド
- リリース・ノート (オンラインのみ)
- VT ユーザーズ・ガイド
- ご使用のお客様へ
- ソフトウェア仕様書（本書）
- System Manager’s Guide
- DECwindows Use

### 1.2 日本語 MailWorks ビデオ・ターミナル

日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルは VMSmail に似ていますが，日本語 MailWorks サーバと直接通信し，メッセージ通信サービスを広範囲にわたってアクセスする豊富なプロトコルを使用しています。この構成要素は日本語 MailWorks サーバと同じところに置かれます。また，通常の端末から日本語 MailWorks のサービスに一様にアクセスできます。

### 1.3 日本語 MailWorks DECwindows

日本語 MailWorks DECwindows は日本語 MailWorks の構成要素です。日本語 MailWorks DECwindows は DECwindows スタイル・ガイドに準拠しており，サーバの動作しているワークステーション上で動作します。また，表示を当社のサポートする X11 表示装置上にすることもできます。

■他のプラットフォームからのアクセス

日本語 MailWorks は DECwindows の標準に準拠しているので， X サーバの動作する装置を持っているユーザはメール・ソフトウェアを使用することができます。この場合，メッセージの作成や保存はデスクトップ装置ではなく，日本語 MailWorks が行います。ウィンドウの表示はデスクトップ装置により行われます。これにより， DECwindows 標準に準拠しているデスクトップ装置にアクセスできます。

## 2 必要なハードウェアの最小構成

### 適用プロセッサ

VAX: VAX 4000 モデル 50,
VAX 4000 モデル 100,
VAX 4000 モデル 100A,
VAX 4000 モデル 105,
VAX 4000 モデル 105A,
VAX 4000 モデル 200,
VAX 4000 モデル 300,
VAX 4000 モデル 400,
VAX 4000 モデル 500,
VAX 4000 モデル 500A,
VAX 4000 モデル 505A,
VAX 4000 モデル 600,
VAX 4000 モデル 600A,
VAX 4000 モデル 700A,
VAX 4000 モデル 705A

VAX 6000モデル 200 シリーズ,
VAX 6000モデル 300 シリーズ,
VAX 6000モデル 400 シリーズ,
VAX 6000モデル 500 シリーズ,
VAX 6000モデル 600 シリーズ

VAX 7000 モデル 600 シリーズ,

VAX 7000 モデル 700 シリーズ

VAX 8200, VAX 8250, VAX 8300, VAX 8350,
VAX 8500, VAX 8530, VAX 8550, VAX 8600,
VAX 8650, VAX 8700, VAX 8800, VAX 8810,
VAX 8820, VAX 8830, VAX 8840

VAX 9000モデル 110,
VAX 9000モデル 210,
VAX 9000モデル 300 シリーズ,
VAX 9000モデル 400 シリーズ

VAX 10000 モデル 600 シリーズ,
VAX 10000 モデル 700 シリーズ

VAXft モデル 110, VAXft モデル 310,
VAXft モデル 410, VAXft モデル 610,
VAXft モデル 612

VAX–11/750, VAX–11/780,
VAX11/785

MicroVAX: MicroVAX II, MicroVAX 2000,
MicroVAX 3100,
MicroVAX 3100 モデル 10/10E,
MicroVAX 3100 モデル 20/20E,
MicroVAX 3100 モデル 30/40,
MicroVAX 3100 モデル 80,
MicroVAX 3100 モデル 90,
MicroVAX 3300, MicroVAX 3400,
MicroVAX 3500, MicroVAX 3600,
MicroVAX 3800, MicroVAX 3900

VAXstation: VAXstation II, VAXstation 2000,
VAXstation 3100 モデル 30/40,
VAXstation 3100 モデル 38/48,
VAXstation 3100 モデル 76

VAXstation 3200, VAXstation 3500,
VAXstation 3520, VAXstation 3540

VAXstation 4000 モデル 60,
VAXstation 4000 モデル 90,
VAXstation 4000 VLC

VAXserver： VAXserver 3100, VAXserver 3300,
VAXserver 3400, VAXserver 3500,
VAXserver 3600, VAXserver 3602,
VAXserver 3800, VAXserver 3900

VAXserver 4000 モデル 200,
VAXserver 4000 モデル 300,
VAXserver 4000 モデル 500

VAXserver 6000 モデル 210,
VAXserver 6000 モデル 220,
VAXserver 6000 モデル 310,
VAXserver 6000 モデル 320,
VAXserver 6000 モデル 410,
VAXserver 6000 モデル 420,
VAXserver 6000 モデル 510,
VAXserver 6000 モデル 520,
VAXserver 6000 モデル 610,
VAXserver 6000 モデル 620,
VAXserver 6000 モデル 630

Alpha: DEC 2000 モデル 300,
DEC 2000 モデル 500

DEC 3000 モデル 300 AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 300L AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 300X AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 300LX AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 400 AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 400 AXP サーバ,
DEC 3000 モデル 500 AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 500 AXP サーバ,
DEC 3000 モデル 500X AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 600 AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 600 AXP サーバ,
DEC 3000 モデル 700 AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 800 AXP ワークステーション,
DEC 3000 モデル 800 AXP サーバ,
DEC 3000 モデル 900 AXP ワークステーション

DEC 4000 モデル 600 AXP シリーズ,
DEC 4000 モデル 700 AXP シリーズ

DEC 7000 モデル 600 AXP シリーズ,
DEC 7000 モデル 700 AXP シリーズ

DEC 10000 モデル 600 AXP シリーズ,
DEC 10000 モデル 700 AXP シリーズ

AlphaStation 200 4/166,
AlphaStation 200 4/233,
AlphaStation 400 4/233

AlphaServer 1000 4/200,
AlphaServer 2000 4/200,
AlphaServer 2100 4/200,

AlphaServer 2100 4/275

### 適用されないプロセッサ

VAX: VAX–11/725, VAX–11/730, VAX–11/782

MicroVAX: MicroVAX I

VAXstation: VAXstation I, VAXstation 8000

### その他の必要なハードウェア

■ 日本語 MailWorks ビデオ・ターミナル

日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルのソフトウェアは日本語 MailWorks サーバと共にパッケージされており，サーバと同じシステム上で動作します。

日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルは，VT1xx，VT2xx，VT3xx 端末上でサポートされています。また，当社が提供およびサポートする上記の端末のエミュレータが動作する出力装置でもサポートされます。

■ 日本語 MailWorks DECwindows

日本語 MailWorks DECwindows のソフトウェアは日本語 MailWorks サーバとともにパッケージされており，サーバと同じシステム上で動作します。このインタフェースは，次に示すワークステーションのいずれか，あるいは当社のサポートする X11 表示装置が必要です。

VAXstation： VAXstation II，VAXstation 2000,
VAXstation 3100 シリーズ,
VAXstation 3200，VAXstation 3500,
VAXstation 3520，VAXstation 3540,
VAXstation 4000 VLC，
VAXstation 4000 モデル 60,
VAXstation 4000 モデル 90

### プロセッサ制限事項

ソフトウェアの構成要素は，サーバ・ソフトウェアと同じシステム内で実行させてください。

本プロダクトが X11 表示装置上に表示される場合，インタフェースの品質は X11 表示サーバ装置の画面の大きさ，解像度，アスペクト比によります。

■ OpenVMS 構成要素で必要なディスク容量
（Block Cluster Size = 1 の場合）

| インストレーション中 | 終了後 |
|---|---|
| 23,000 | 15,000 |

表中のサイズは概数であり，実際のサイズはユーザのシステム環境，構成，およびソフトウェア・オプションによって異なります。

サーバが必要とするユーザ空間は，そのユーザが保存を望むメールの量によって決まります。

■ 日本語 DECwindows をサポートする際に必要なメモリ

クライアントとサーバが同じシステム上で実行されている，スタンドアロンの日本語 DECwindows 環境で本アプリケーションを実行するには，少なくとも 8MB のメモリが必要です。

日本語 DECwindows アプリケーションのパフォーマンスとメモリの使用量は，システム環境によって異なります。もしサーバ（アプリケーションの表示する構成要素）が他のノード上にある場合は，クライアントシステム（ソフトウェアがインストールされ，実行されるシステム）では，これよりも少ないメモリ容量ですみます。いくつかのアプリケーションを実行させたり，パフォーマンスを向上させるためには，メモリの増設が必要になります。

## 3 クラスタ環境

本レイヤード・プロダクトは，正規のライセンスを持つ VAXcluster 構成の上*にインストールされている場合，機能上の制限を受けません。本ソフトウェアで必要とされるハードウェアについては，必要なハードウェアの最小構成の項に記述されているとおりです。

* VAXcluster 構成については『VAXcluster Software Product Description (SPD 29.78.xx)』に記述されています。また，この構成には CI，Ethernet および Mixed Interconnect 構成が含まれます。

## 4 必要なソフトウェア

クライアントをサポートする日本語 MailWorks サーバおよび日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルには，次のソフトウェアが必要です。

*OpenVMS VAX:*

- 日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム V5.5-2 以降
- DECnet
  - DECnet for OpenVMS VAX V5.5 以降
    あるいは
  - DECnet/OSI for OpenVMS VAX V5.6B ECO 10 以降
    (注意: ロング・ノードネームはサポートされません)

*OpenVMS AXP:*

- 日本語 OpenVMS AXP オペレーティング・システム V6.1

- DECnet
  - DECnet for OpenVMS AXP V6.1
    あるいは
  - DECnet/OSI for OpenVMS AXP V5.8 以降
    (注意: ロング・ノードネームはサポートされません)

日本語 MailWorks サーバは，同じサーバを使用するクライアントや構成要素のユーザにメッセージを配信します。したがって，単一 VAXcluster または単一 LAN 上の全ユーザは 1 つの日本語 MailWorks サーバを介してメッセージを交換することができます。

VAX Message Router Transfer Service は，他のサーバのユーザ，または他の電子メッセージ通信製品のユーザとメッセージ交換するために必要です。 OpenVMS VAX では，これは，日本語 MailWorks サーバと同一システム上か，あるいは他の DECnet ノード上のいずれかに必要です。 OpenVMS AXP では，VAX Message Router Transfer Service が別の VAX ノード上に必要です。 VMSmail ユーザと通信するには，さらに VMSmail Gateway が必要です。

大部分の構成で VAX Message Router が必要です。また VMSmail 製品から移行するサイト，あるいは VMSmail 製品と通信するサイトでは VMSmail Gateway が必要です。

日本語 MailWorks DECwindows には，ワークステーション上に次のソフトウェアが必要です (OpenVMS AXP 版ではサポートされません)。

- 日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム V5.5-2 以降 (および OpenVMS DECwindows の必要な構成要素)
- DECnet
  - DECnet for OpenVMS VAX V5.5 以降
    あるいは
  - DECnet/OSI for OpenVMS VAX V5.6B ECO 10 以降
    (注意: ロング・ノードネームはサポートされません)

本製品は次のいずれの構成でも使用できます。

- メール・サーバの実行されるのと同じローカル・エリア VAXcluster のメンバのワークステーション
- メール・サーバとクライアントが実行される VAXcluster のメンバではないが，DECnet で接続されているワークステーション装置
- 当社のサポートする X11 表示装置をつけたサーバ CPU あるいは VAXcluster

日本語 OpenVMS DECwindows は日本語 OpenVMS オペレーティング・システムの一部ですが，別々にインストールしなければなりません。日本語 OpenVMS DECwindows のインストレーションの際に，オプションで次の 3 つの構成要素のいずれか，またはすべてがインストールできます。

- OpenVMS DECwindows Compute Server (Base kit ; ランタイム・サポートを含む)
- OpenVMS DECwindows Device Support
- OpenVMS DECwindows Programming Support

スタンドアロンでの実行では，ワークステーションに次の日本語 DECwindows 構成要素がインストールされていることが必要です。

- OpenVMS DECwindows Compute Server
- OpenVMS DECwindows Device Support

リモートでの実行では，次の日本語 DECwindows 構成要素がインストールされていることが必要です。

X11 表示装置では，

- OpenVMS DECwindows Compute Server
- OpenVMS DECwindows Device Support
- OpenVMS DECwindows Programming Support

X11 クライアント・システムでは，

- OpenVMS DECwindows Compute Server
- OpenVMS DECwindows DeviceSupport
- OpenVMS DECwindows Programming Support

## 5 オプション・ソフトウェア

*OpenVMS VAX:*

- TCP/IP
  - 日本語 DEC TCP/IP Services for OpenVMS VAX V3.2 (SPD 28.B4.xx)
- VAX Message Router V3.3 以降 (SPD 26.33.xx)
- VAX Message Router VMSmail Gateway V3.3 以降 (SPD 26.33.xx)
- VAX Message Router/P Gateway V1.3 以降 (SPD 28.94.xx) (IBM PROF Office Vision/VM systems への接続)
- VAX Message Router/S Gateway V1.3 以降 (SPD 29.24.xx) (IBM DISOSS システムへの接続)
- 日本語 VAX Message Router X.400 Gateway (バージョンについては，最寄りの日本 DEC 各支店/営業所にお問い合わせください)(SPD 26.H2.xx)

- CDA Converter Library for OpenVMS V2.2
  (SPD 31.31.xx)
- CDA Converter Library -J for OpenVMS VAX V1.0
  (SPD 46.53.xx)
- PATHWORKS for OpenVMS, Version 4.2 以降
  (TeamLinks for Windows 新着メール通知機能を使用する場合にのみ，必要)

*OpenVMS AXP:*

- TCP/IP
  - 日本語 DEC TCP/IP Services for OpenVMS AXP V3.2 (SPD 47.59.xx)
- VAX Message Router V3.3A
  (Message Router は VAX 上でのみ動作します。Alpha からはリモート・アクセスすることが必要です)
- PATHWORKS for OpenVMS, Version 4.2 以降
  (TeamLinks for Windows 新着メール通知機能を使用する場合にのみ，必要)

## 6 バージョンアップの考慮

本製品の将来のバージョンでは，必要なハードウェアおよびソフトウェアの最小構成が変更されることがあります。

## 7 提供媒体

VAX 版: TK50 ストリーム・テープ

Alpha 版: 日本語 OpenVMS Alpha ソフトウェア・ライブラリ

## 8 注文情報

最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

## 9 ソフトウェア・ライセンス

本ソフトウェアは日本 DEC 標準契約条項中のライセンス規定に基づいて提供されます。

日本 DEC のライセンス条件とその方針についての詳細は，最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

## 10 ライセンス管理機能

本ソフトウェアは OpenVMS ライセンス管理機能 (LMF) をサポートしています。

日本語 MailWorks サーバについては，ライセンス単位は Unlimited ユース，パーソナル・ユース，あるいは同時使用ユーザ数に応じて割り当てられます。

日本語 MailWorks ビデオ・ターミナルについては，ライセンス単位は Unlimited ユース，パーソナル・ユース，あるいは同時使用ユーザ数に応じて割り当てられます。

日本語 MailWorks DECwindows については，ライセンス単位はパーソナル・ユースに応じて割り当てられます。

ライセンス管理機能の詳細は OpenVMS Operating System の『Software Product Description（SPD 25.01.xx）』あるいは OpenVMS Operating System のドキュメント・セットの『License Management Utility Manual』を参照してください。

当社のライセンス用語および方針に関する詳細については，最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

## 11 ソフトウェア製品サービス

日本 DEC では，様々なサービス・オプションを提供しています。詳細については，最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

## 12 保証

本ソフトウェアについては，日本 DEC 所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されます。

---

® IBM および PROFS は米国 International Business Machines 社の登録商標です。

® KEYpak は米国 Keyword Office Technologies 社の登録商標です。

® Microsoft は米国 Microsoft 社の登録商標です。

™ Apple および Macintosh は米国 Apple Computer 社の商標です。

™ Windows は米国 Microsoft 社の商標です。